

我がまちの魅力再発見

「我が町の「光」をみることから始めるまちづくり」

はじめまして
ひがっしーです。



平成25年11月3日
東村山市



東村山の公式
キャラクターです！
よろしくね^o^

東村山市の位置

自然と利便性の調和した住宅都市



都心から約30キロ
市内に3路線9駅
西武新宿線
西武池袋線
JR武蔵野線
都心から電車で約30分

市制施行	1964年4月1日
面積	17.17km ²
人口	152,445人
世帯数	68,778
	(2013年7月1日現在)



東村山市の農産物



農産物では、梨や
ブドウ・さつま芋に
お花が有名です！



東村山市のグルメ



郷土食の武蔵野うどんに
おだんご！
黒焼きそばもおいしいよ！



東村山市の見どころ



国宝 正福寺地蔵堂



北山公園



八国山緑地



野火止用水



瀬の森

東村山には、国宝建造物の「正福寺地蔵堂」や四季折々の花が咲き乱れる北山公園、トトロの舞台とも言われている八国山緑地。他にも野火止用水や瀬の森など歴史や自然の見どころがたくさんあります。



東村山市のおまつり・イベント①



東村まつりイメージキャラクター
「しゅちゃん」と花摘み娘

春に北山公園で行われる「東村まつり」には毎年たくさんの方がおとずれます。



東村山市のおまつり・イベント②



秋に開催される「産業まつり」には市内の農産物の品評会や山車の競演やたぐさんのイベントがあります。



東村山市の取り組み「人権の森構想」



国立ハンセン病資料館



「いのちとこころの人権の森宣言」の碑

東村山市には、東京で唯一の国立ハンセン病療養所「多磨全生園」があります。敷地の中にはハンセン病資料館があり、年間2万人以上の方が訪れます。入所者の皆さんは、この「多磨全生園」の施設や緑を保全・保存し後世に残し伝えるため「人権の森構想」を掲げ運動をされており、東村山市としても、人権の大切さを後世に伝えるためこの構想に賛同し「人権の森」の実現に取り組んでいます。



東村山市では、「人権の森」の啓発ポスターを作成して、市内の全公立小中学校に配付し次代を担う子供たちに多磨全生園「人権の森」を知っていただく取り組みをはじめました。



「ひがっしー」と「東村山」をよろしくお願ひします

東村山へ是非おこしくさい！



ご清聴ありがとうございました

8月24日 多磨フェスティバルでデビューしました

第4回「5市市長が語る地域自治体連携シンポジウム」

環境と共生する持続可能なまちづくり

平成25年11月3日
東村山市



みどりを基軸としたまちづくり

東村山市 みどりの基本計画

平成23年3月策定
同時期に策定された第4次総合計画に掲げられた将来都市像「人と人 人とみどりが響きあい 笑顔あふれる東村山」の実現をめざし策定



市民参加・協働による保全

・八国山緑地の保全

当市の北西部には都有地である八国山緑地が広がり意見交換会の開催など都・市・住民の連携を行っています

・淵の森緑地

「となりのトロ」で有名な宮崎駿氏の寄付をきっかけに市民からの寄付などをふくめ公有地化
市民ボランティアによる清掃活動や管理

・全生園 人権の森構想

東京で唯一の国立ハンセン病療養所「多磨全生園」が所在し、敷地の中にはハンセン病資料館があり、年間2万人以上の方が訪れます。
入所者の皆さんは、この「多磨全生園」の施設や緑を保全・保存し後世に残し伝えるため「人権の森構想」を掲げ運動をされており、東村山市としても、人権の大切さを後世に伝えるためこの構想に賛同し「人権の森」の実現に取り組んでいます。

市民参加・協働による公園管理

民設公園

萩山町四季の森公園

都内初の民設公園
住民説明会やワークショップを行い設置
開園後は、マンション住民の方と地域
住民の交流を目的に民間事業者、行政、共催によるイベントを開催



公園ボランティア



市内に約150か所の公園があり行政の管理では限界
公園周辺住民でボランティアの会を立ち上げ公園の清掃活動や落ち葉掃き、地域の子供を集めるイベント等の開催

地球温暖化対策への取り組み

- ・公共施設への太陽光発電システム設置
- ・「エコオフィスプラン東村山」の策定
- ・住宅用太陽光発電システム設置工事費補助の実施
- ・住宅用省エネルギー設備設置費補助金交付事業



空間放射線量測定

- 23年6月 市立小中学校で測定実施
- 23年7月 市内の公園でも実施
- 23年12月 公立保育園、私立幼稚園保育園 児童館
児童クラブ等を追加

現在も毎月実施し公共施設・市HPIに掲載

空間放射線量測定器の貸出

24年9月より身近な場所の空間放射線量を把握することができるよう、市民及び団体を対象として空間放射線量測定器5台を貸し出しております。



食材等放射性物質測定検査

公立保育園及び小中学校の給食食材検査

平成24年9月より、市内の公立保育園児や公立小・中学校の児童、生徒に安全で安心な給食の提供のため消費者庁から貸与された簡易型放射性物質分析機器で給食食材の検査を開始



食材等放射性物質測定検査

市民持ち込み食材等の放射性物質測定を市民と協働で実施

平成25年1月より、放射能の影響について勉強している市民団体と協働で市民の個人消費を目的とした食材等について給食食材検査と同じ簡易型放射性物質分析機器を使用して測定



循環型社会の形成を目指して

環境省が実施した

一般廃棄物処理事業実態調査(平成23年度)

「一人一日当たりのごみ排出量」及び「リサイクル率」の2部門で全国第10位になりました。

「一人一日当たりのごみ排出量」が、全国平均975gに対し本市が750.8g、「リサイクル率」が、全国平均20.4%に対し本市が33.3%になっています

今後につきましても「東村山市一般廃棄物処理基本計画」に定められた基本理念である「低炭素や効率性に配慮した循環型社会の実現」に向け、更なる事業推進を図ってまいります。

東村山市秋水園リサイクルセンター整備

一般廃棄物中間処理施設「秋水園」

昭和37年設置

平成元年より びん・缶などを中心に再資源化の取り組みを開始

平成18年度より プラスチック製容器包装の分別を開始し、ごみ減量と循環型社会形成に積極的に取り組んでいます

現在 更なる循環型社会形成に向け、平成26年7月の稼働をめざし、平成24年11月から、リサイクルセンターの建設工事に着手



新設のリサイクルセンターは、市民参加による検討内容なども反映したものとなっており、当市における資源化の拠点施設としての位置づけの強化を図り、不燃ごみ、粗大ごみ、びん・缶などの処理を統合した効率的な資源化処理を行うことや太陽光発電設備を設置するなど、環境へ配慮したものとなっています。